

センターだより

第25号

荒砥

発行日：平成29年4月24日

発行所：荒砥地区コミュニティセンター

Tel 85-0260

Fax 85-0263

～新しい地域共同体の未来への創出に向けて～

持ちきれない花束をありがとう♪



4月7日、荒砥学校の入学式が行われました。今年は43名の新1年生が晴れの日を迎えました。6年生から激励の花束をたくさんいただいて、うれしそうな1年生です。齋藤芳昭校長先生から、〈校是〉の「琢磨」知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材タレのお話を聞いて元気よく返事をし、これからの新しい生活を楽しみにしているようでした。



新年度のご挨拶

荒砥地区コミュニティ運営協議会 会長 大木 一男

平成二十九年度が始まりました。コミセンに変わって三年目となり、一層気の引き締まる思いでございます。皆様方にはコミセン運営につきまして温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝しています。

さて、少子高齢化と人口の減少に伴ういろいろな課題が鮮明になってきた中で、コミセンのスタートでありました。進むべき道は、まだ明らかではありませんが、皆さんと一緒に一歩一歩前に進んでいかなければいけないと思います。

各地区の分館活動も活発に行われていて感謝している所ですが、コミセン事業にも多くの皆さんに参加していただき、よりよく仲間づくりや学習の場、そして楽しい憩いの場となることで、これからの荒砥が見えてくるのではないかと思います。

どうか、コミセンに気軽に足を運んでいただき、地域の話話を皆なして語り合ってくださいますようお願いいたします。



本年度もよろしくお願ひします

荒砥地区コミュニティセンター センター長 高山 義則

「コミセンはのりしろです。」というキャッチコピーをお示ししてから一年が経ちました。荒砥地区コミセンにもまた新しい一年分の歴史が積みあがったということと。

年度の初めに、荒砥地区内八区に共通する課題は何かと考えました。そして、「防災についての心構えや準備をしっかりとすることが先ずは最大の課題だ。」と思ひました。そのようなことから、地域を理解し、さらには地域防災の役にも立つことを期待して建てたのが駅前の大看板です。

さらに防災に関してみんなで考え、また、みんなで準備をしようと思ひて作成したのが、全戸に配らせていただいた「防災ガイドブック」です。

「来るか来ないか分かりもしないものに備えるのは無駄だ。」と考えるのではなく、「いつ来るか分からないから備えが必要なんだ。」と考えるべきです。

「天災は、忘れた頃に来る。」というのは、文学者でもあり科学者でもあった寺田寅彦の言葉です。昨年に引き続き、「防災」に注目した事業をいろいろと展開したいと思ひていますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

専門部会名簿

◎部会長 ○副部会長 (敬称略)

★専門部会は、運営委員・分館長・書記で構成されます。

総務企画部会	生涯学習部会	軽スポーツ部会	生活安全推進部会
◎横川 雅浩	◎新野 優	◎五十嵐清蔵	◎衣袋 正人
○長谷部千晶	○椎名登美子	○竹田 雅彦	○高橋 清吉
山口 良浩	高橋 康子	奥山 祐二	伊勢谷和之
栗原 一執	五十嶺秀一	菅原 良教	小関 篤
加藤 裕之	五十公野一男	川村 朋弘	工藤 慶味
工藤裕一郎	殿岡 貴子	和栗 高一	長谷川孝次
松下 友彦	伊藤 良司	芳賀 実	大貫 一浩
横山 智	奥山 理恵	五十嵐政人	川村 浩司
菅原 保文	高橋 清		
	樋口与一朗		

町内	区長 副区長	町内長	分館長	書記	子ども会 育成会長
八幡1	菊地吉昭 高橋清吉	高橋晴之	工藤裕一郎	殿岡貴子	松下貴洋
八幡2		安部公司	長谷川孝次	伊藤良司	長谷川孝次
新町		横山徳一	横山 智	松下友彦	○橋本 晃
上町	塚原芳明 石井英勝	新宮政利	加藤裕之	高橋 清	後藤 実
出来町		○菅原弘美 青木清男	○樋口与一朗	栗原一執	○梅津功一
横町		芳賀吉弘 松下圭助	工藤慶味	大貫一浩	○佐藤英人
仲町	保科孝一 高橋安治	保科久一 大瀧重信 齋藤 忠 奥山則夫	金子 博	芳賀 実	連合○丸山真治 1○竹田秀一 2○小出和明 3○梅津和明 4○菅間芳松
貝生	大木一男 ○工藤章博	○工藤章博 梅津喜一 佐竹政利	○菅原良教	菅原保文	○竹田美智雄
菖蒲	高橋秀昭 小関幸一	○今野 隆昇 齋藤 昇	○小関 篤	川村浩司	○芳賀貴幸
下山	安部 昭 奥山政博	奥山 清	奥山祐二	和栗高一	○安部康雄
佐野原	竹田吉衛 伊藤一栄	五十嵐秀明	五十嵐清蔵	○五十嵐政人	○竹田健治
大瀬	後藤新市 ○吉田俊治	○吉田俊治	○五十公野一男	五十嶺秀一	

わが町の子ども会育成会

八幡一・二



長井線に乗ってお出かけしたよ！

八幡一	八幡二
会 長 松下貴洋	会 長 長谷川孝次
副会長 小松宗二郎	副会長 森 真澄
副会長 志水俊晋	
小学生 4名	小学生 3名
中学生 11名	中学生 0名
合計 15件	合計 3名
世帯数 10件	世帯数 2件

★八幡一の子どもの数は、ここ数年がピークを迎え、その後少しずつ減少していくと思われず。そういった状況だからこそ、子供だけでなく父兄も一緒に協力をし、楽しめる子ども会になればよいと思います。(会長 松下 貴洋)

★八幡二子ども会は、人数不足で、様々な行事をしたかったと思っても、昨年までは一件のみ。どうしようもない問題なかもしれません。多くの子ども達が一緒に活動できればと思っています。多くの人が集まれば、学校も違った子ども達の関係づくりや、関わりなど経験できるのかと思うのですが。

三年くらい前から、八幡一の子ども会さんと夏の行事を一緒に活動させてもらっています。子ども達もですが、親も毎年楽しみます。

(会長 長谷川孝次)

お知らせとご案内

お申し込みとお問い合わせ
荒砥地区コミュニティセンター TEL85-0260

花の寄せ植え教室

春です！寄せ植えをしませんか？気に入った花を選びましょう。当日、コミセンのグリーンカーテンも一緒に植えます。今年はどんな植物になるのか楽しみです！

- ♪日 時：5月16日（火）午前9時30分
- ♪場 所：荒砥コミセン
- ♪講 師：花ショップポピー 齋藤憲昭氏
- ♪会 費：選んでいただいた花苗のみ自己負担
- ♪持 物：植木鉢・移植ベラ
- ♪申込み：5月12日（金）
- ★当日、植木鉢も販売いたします。必要な方はお買い求めください。

①荒砥が一目でわかるパンフレット

手持ちのパンフレットは、荒砥駅と荒砥地区コミセンに置いてあります。みなさん、どうぞ、ご活用ください。

②調理室にガス釜設置

荒砥コミセンでは、調理室に、2升炊きのガス釜が2台設置になりました。防災訓練や各種団体の事業にお役立てください。

③元気わくわく教室

5月の介護予防教室は
（11日、18日、25日）木曜日です。

あとがき・・・
冬の寒さに耐えた、コミセンの土手に植えられていたたくさんの水仙が咲き、待っていたうぐいすもやってきました。そして、まもなく荒砥八乙女種まき桜も開花です。
ボランティアの方を中心に、コンサートの準備や湯茶接待など、観光客を温かくおもてなしをしようと、準備に余念がありません。
荒砥コミセンも、今年度の部会活動が開始しました。お互いに連携を取りながら、前年同様、充実した事業が出来るようにと願っています。

がもう

げんき講座

第1弾

年齢・男女問わずご参加いただける講座です。一年に3回～4回実施いたしますので、お気軽にご参加ください。

- ♪日 時：5月12日（金）午後1時30分
- ♪場 所：荒砥コミセン 第1・2研修室
- ♪テーマ：「心とからだの健康について」
毎日を元気に過ごしたい方のための講座
- ♪講 師：

荒砥金鐘寺 住職 菅野信也氏

（高島町出身 36歳）

- ♪会 費：200円
- ♪申込み：5月9日（月）まで
- ★皆様のご参加をお待ちしています

これからの予定

- 4/25(火) コミセン総代会
- 4/26(水) ことぶき学級代表者会
- 4/28(金) スポーツ振興会評議員会
- 5/10(水) 軽スポーツ部会
- 5/12(金) げんき講座
- 5/16(火) 花の寄せ植え教室
- 5/18(木) 八乙女の舞打ち合わせ会
- 5/21(日) ビーチボールバレー大会・ソフトボール大会

白鷹東駐在所からのお知らせ

～春は新入学・新入園の季節～

春は、ピカピカの1年生が道路にデビューします。思いやりの運転をお願いします。

★横断歩道は歩行者絶対優先

横断歩道では歩行者が絶対優先。歩行者の通行を妨げてはいけません。

★横断歩道での徐行・一時停止

横断歩道に歩行者がいたら、必ず一時停止をして歩行者を渡らせる義務があります。

★子供の飛び出し注意！

小さな子供は、思いがけない場所から飛び出すことがあるので、充分注意しましょう。

長井警察署 84-0110 白鷹東駐在所 85-2046